



エコ・ファーストの約束 「モビリティの発展と地球環境保全への取り組み」

環境大臣 齊藤 鉄夫 殿

平成21年3月9日
日本ミシュランタイヤ株式会社
代表取締役社長 ベルナール・デルマス

日本ミシュランタイヤ株式会社は自動車の主要部品であるタイヤのライフサイクルアセスメント、即ち原材料調達から生産、配送、使用、その後の再生及び廃棄まで各段階での環境負荷指数に注目し、その製造、販売を通してより効率的な環境負荷低減活動に邁進し、持続可能な社会の形成のために以下のとおり取り組んで参ります。

1. 環境対応型製品(省燃費タイヤ)の市場投入を推進いたします。

タイヤのライフサイクルアセスメントの中で最も環境負荷が高い使用過程(走行時)でのCO2削減を図るため、転がり抵抗の低いタイヤの普及を促進します。

- 乗用車用省燃費タイヤ(安全性能とタイヤ寿命にも配慮し、従来の弊社の省燃費タイヤ比で転がり抵抗値約7%削減した製品*)の市場投入を積極的に進めます。
- トラックバス用タイヤにおいて、転がり抵抗値を従来品比で19%削減した省燃費タイヤ、およびワイドシングルタイヤ(省燃費及び省資源型タイヤ、転がり抵抗値従来品比15%削減、重量50kg削減/1輪当り:ホイール含む)の普及を目指します。

* 試験条件等、弊社製品カタログ、2009年2月版参照

2. 3Rの概念を尊重し、トラック、バス用タイヤにおいて“ミシュランの3R”を推進いたします。

- Reduce: 長寿命タイヤ(弊社従来品比でおおよそ10%の延長)を漸次市場投入し廃棄タイヤの排出量を減らします。
- Reuse: トラックタイヤの寿命を25%延長させるリグループ(残溝1.6mmとなった摩耗タイヤへのパターン溝の追加切り込み)普及のため、全国150のリグループ作業店の設置を目指します。
- Recycle: 使用する原材料を新品比68%削減可能なリトレッド(完全摩耗したトラックタイヤ接地部分への新しいゴムの圧着)を推進し、そのリトレッドタイヤの販売を2009年で倍増、それ以降は3倍を目指します(2008年実績比)。

3. 設計、生産、輸送、販売、再生等あらゆる事業活動からの環境負荷を低減し、環境意識の向上に努めます。

- 工場設備でのエネルギー使用量低減に向けて、燃料転換、コジェネレーションシステム等の導入を図り2010年以降、2008年比で4%以上のCO2削減に努めます。
- 安全性を確保した省燃費タイヤの普及に向け、標準規格の作成作業に参画します。
- 全社員対象の環境基礎教育プログラムを積極推進し、職場及び家庭での環境意識向上を徹底します。
- 合計、約200台の営業車を環境負荷の少ない環境対応型車両(プリウス、インサイト等)に年10台程度を目処に漸次切り替えてゆきます。
- NGO(GEAなど)の活動に積極参加し環境意識の向上を内外に訴えてゆくことに加え、ミシュラングループの世界的環境活動“チャレンジバンダム”フォーラム開催に向け、関係官庁及びエネルギー、運輸関係企業団体などと積極的に交流し国内の環境意識の継続的向上を目指します。
- Websiteを通してタイヤやモビリティと環境との関連(タイヤの転がり抵抗、空気圧管理、エコドライブなど)について啓発してゆきます。
- 日本でのCO2削減活動を、ミシュラングループを通じて世界各国での取り組みに役立てていけるよう発信してまいります。

日本ミシュランタイヤ(株)は上記取り組みの進捗状況を確認し、結果について環境省への報告、ならびにウェブサイトなどを通して定期的に公表を行ってまいります。

